

CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20-3-301
お問合せ電話: +81-45-717-8575

中国の2021年負極材料市場動向と見通し

負極材料にはメソカーボンマイクロビーズ、人造黒鉛、天然黒鉛、ハードカーボンなどの炭素系、シリコン系、スズ系、チタン酸リチウムなどが含まれる。そのなかで炭素系の人造黒鉛と天然黒鉛が最も広く応用されている。

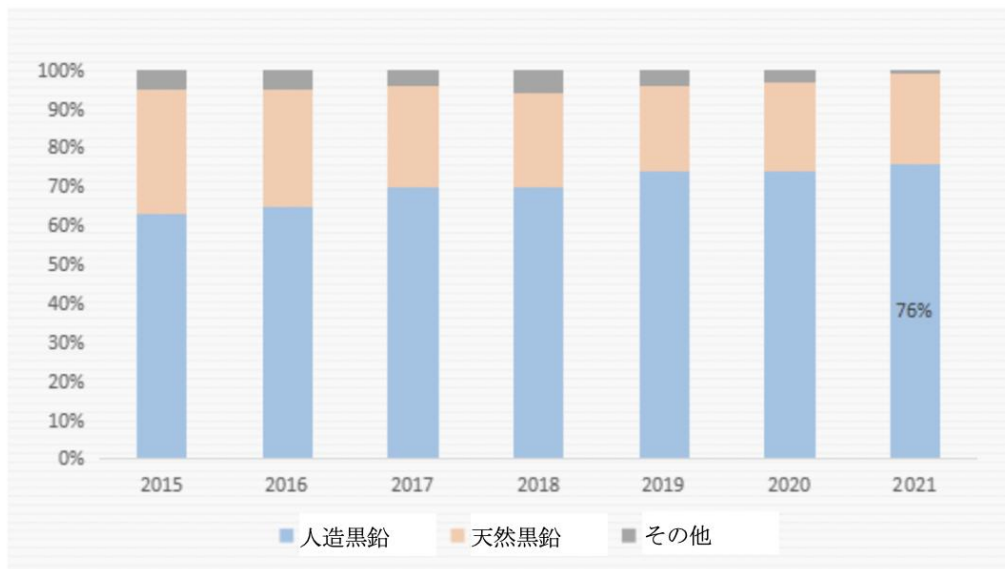
1. 生産量

中国の負極材料の2021年の生産量は81.59万トンで前年から76%増加した。これは世界生産量の92%（2020年は85%）で、韓国と日本はそれぞれ5%、2%だった。

2. 種別の市場シェア

負極材料の種別市場シェアでは、人造黒鉛は76%を占め、2020年とほぼ同じだった。

単位：%



情報源：ICC より整理作成

図 中国の負極材料の種類別市場シェアの推移（2015～2020年）

3. 価格

黒鉛化の需給逼迫による負極材料のコスト高を受けて、2021年の負極材料価格は25%上昇した。

2021年11月末現在の1トン当たりの負極材料価格はローエンド3～4万円（54.42～72.56万円。1元=18.14円で換算、以下同）、ミッドレンジ4.5～5.5万円（81.64～99.78万円）、ハイエンド5.5～8万円（99.78～145.13万円）だった。

CMI 株式会社

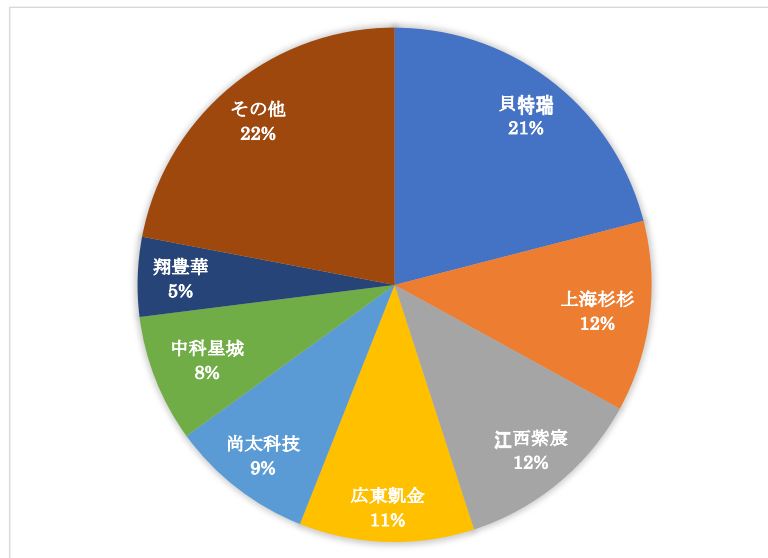
横浜市鶴見区東寺尾中台20-3-301

お問合せ電話: +81-45-717-8575

4. メーカー

負極材料大手メーカーの深圳市貝特瑞新能源材料股份有限公司（以下、「貝特瑞」）、上海杉杉科学技術有限公司（以下、「上海杉杉」）、江西紫宸科技有限公司（以下、「江西紫宸」）、広東凱金新エネルギー科学技術股份有限公司（以下、「広東凱金」）の2021年の出荷量はいずれも8万トンを超えた。

負極材料の市場シェアについては、貝特瑞（21%）、上海杉杉（12%）、江西紫宸（12%）、広東凱金（11%）の4社は2020年とほとんど変わりなかった。湖南中科星城黒鉛有限公司（以下、中科星城）、石家荘尚太科学技術股份有限公司（以下、尚太科技）は前年比3ポイント上昇した。



情報源：ICC より整理作成

図 企業別負極材料市場シェア率（2021年）

5. 今後の見通し

2021年、新エネルギー車の普及によりリチウムイオン電池用負極材料の需給逼迫が生じた。負極材料メーカーは生産規模の拡大を計画しており、今後の負極材料分野の年平均成長率*は約40%と予測されている。

公開情報によると、新規建設の負極材工場はほとんど年間生産量10万トン以上の規模であり、これらの工場生産は2023年前後に開始し、市場に供給する見込みである。

2022年上半期は、メーカーは依然として黒鉛化、原料の供給不足、値上がりなどの課題に直面するが、負極材料生産量は120万トンを超えると予測される。

注：年平均成長率とは、企業の複数年の成長率から、1年あたりの幾何平均（比率や割合で変化するものの平均）を求めたものを言う。

情報源：ICC 資訊、石墨盟より整理作成。